

# 水稻作況試験情報 【令和元年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月30日現在）

7月以降、最高気温は平年よりやや低く推移した。降水量は、7月3～4半旬は平年より多く、日照時間は平年に比べ少なく推移した。田植40日後の草丈は、過去平均値に比べコシカ、ヒノヒカリ、おいでまい3品種とも長かった。茎数は、コシカ、ヒノヒカリ、おいでまい3品種とも過去平均値に比べ少なかった。主稈葉数は同程度であった。

## 1. 作況試験の方法

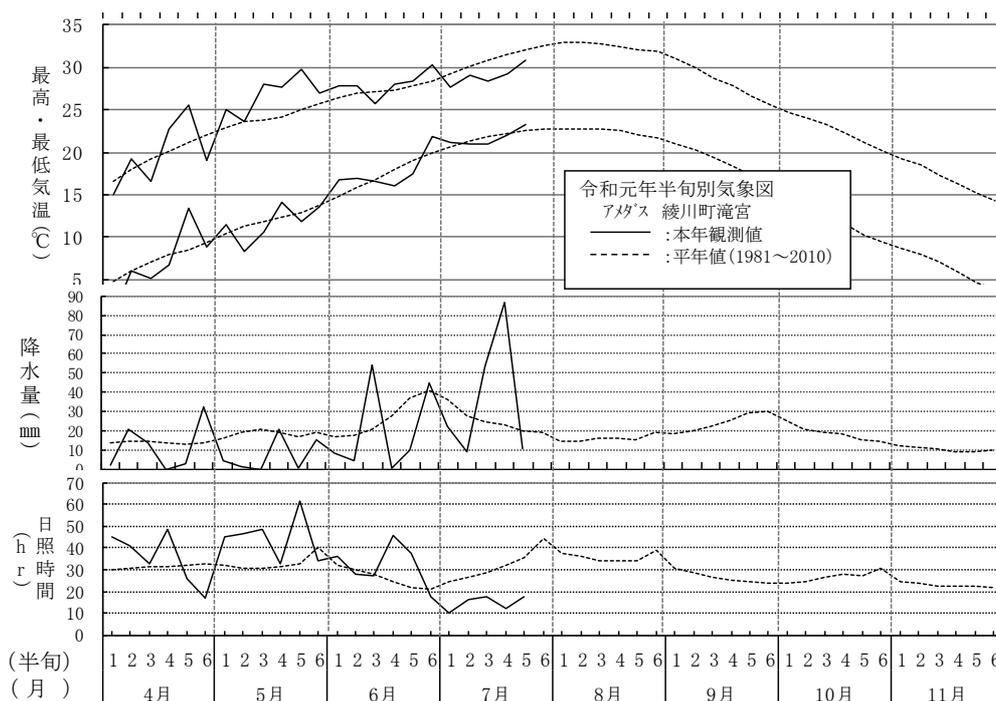
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月30日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5株/m<sup>2</sup> (30cm×18cm)、1株4本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥 (N成分kg/a)

	基肥	穂肥 I (予定)	穂肥 II (予定)
コシヒカリ	0.3	0.15	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料 (N : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : K<sub>2</sub>O = 14 : 10 : 12%)
- 7) 1区面積及び区制 1区250m<sup>2</sup> (コシカ500m<sup>2</sup>)、2反復

## 2. 具体的データ

令和元年産水稻 気象表 (7月5半旬まで)



令和元年度 水稲作況試験生育調査結果

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/20)	草丈(cm)	12.8	13.7	▲ 0.9	9.9	11.8	▲ 1.9	10.1	12.1	▲ 2.0
	主稈葉数(枚)	2.4	2.4	0.0	2.5	2.6	▲ 0.1	2.5	2.7	▲ 0.2
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	39.4	37.2	2.2	32.4	30.6	1.8	32.5	33.7	▲ 1.2
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	226	221	2 %	289	230	26 %	281	251	12 %
	主稈葉数(枚)	7.6	7.3	0.3	7.8	7.5	0.3	7.8	7.7	0.1
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)	59.4	55.2	4.2	49.4	46.7	2.7	47.4	45.6	1.8
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	411	516	▲20 %	511	520	▲2 %	544	613	▲11 %
	主稈葉数(枚)	9.9	9.7	0.2	9.9	9.8	0.1	10.1	10.2	▲ 0.1
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)	80.5	72.5	8.0	76.1	64.2	11.9	74.3	61.4	12.9
	莖数(本/m <sup>2</sup> )	398	534	▲25 %	503	551	▲9 %	546	678	▲19 %
	主稈葉数(枚)	11.3	11.2	0.1	11.4	11.3	0.1	11.8	12.0	▲ 0.2
播種期(月/日)		5/30	5/30	0	5/30	5/30	0	5/30	5/30	0
移植期(月/日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20	6/20	0
幼穂形成始期(月/日)		7/28	7/28	0		8/7			8/8	
出穂期(月/日)			8/15			8/28			8/28	
主稈止葉葉位(枚)			13.1			14.2			15.3	
穂数(本/m <sup>2</sup> )				%			%			%
稈長(cm)										
穂長(cm)										
成熟期(月/日)										

注1) コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2) 莖数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。